北信教育事務所だより

～子どもに発し、子どもに還る　学校づくり・授業づくり～

共にひらく

令和4年7月19日　第3号

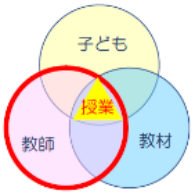
教師もアクティブラーナーとして～日々研・クロスエイジ研～

「第１回日々の授業改善研修（通称日々研）」、「教師力向上研修Ⅱ・Ⅳ（通称クロスエイジ研）」が５月23日、６月28日にそれぞれ行われました。意欲溢れる先生方の姿を紹介します。

第１回日々の授業改善研修

３つの「いいね」で「たい」が躍る授業を！

ねがい（子ども）・ねた（教材）・ねらい（教師）



本研修はオンラインで行いましたが、40名ほどの先生方にご参加いただき、授業づくりの基礎・基本について学びました。上記三つの『いいね』を大切にすることで、子供たちの「知りたい」「考えたい」といった「～たい」が躍る子供が主体的になる授業づくりについて考え合いました。その後、教科等に分かれ、専門の指導主事と共に授業を構想したり、日ごろの悩みについて話したりしました。日々の授業の子供の「たい」は、元気ですか？

『参加された先生方の声』

○自分の中で自信のなかった「学習問題」「学習課題」の提示について改めて確認できてよかった。

○１年目でよくわかっていない部分が多くあり、不安なことも多かったが、先輩の先生方の経験豊富な話を聞くことができ、これからの授業づくりや展開に希望をもつことができた。

11／22（水）第３回日々の授業改善研修開催予定

初任研「教師力向上研修Ⅱ」

キャリアアップ研修Ⅰ対象者（５年目）の先生方と授業実践を発表し合い、お互いの実践に学び合いました。前半は、人権教育に関する研修を行い、後半は、５年目の先生方が自身の経験を元に、初任の先生方の実践に親身になって助言する姿が見られました。

【初任の先生の感想より】

○なぜ子供たちと「同和問題」について考えるのか、という問いに私はうまく答えられませんでした。子供たちが正しく認識できるように、何よりこの差別を解消していけるように人権教育に取り組んでいきたい。

○５年研の先生の実践では、子供の生活に寄り添った姿勢があり、子供から出てくる言葉が真正な言葉だったのが印象的だった。５年研の先生方とお話ししていると、言葉の端々に学ぶことがあり、お話しできてよかったと思う。

もうすぐ夏休み！　～指導主事に聞いた「夏休みにしていたこと」～

夏休みまでもう少し。夏休みは心身共にリフレッシュすると共に、教師にとっては研修や教材研究の絶好の機会でもあります。そこで、北信教育事務所のＦ指導主事に「夏休み中にしていたこと」を聞いてみました。

日ごろなかなか読めない本を読んでいました。そのことによって、学校と少し離れた視点から新たな考え方や情報を得ることがありました。また、題材の背景になった場所に行くこともありました。（Ｆ主事）

＜本号でお伝えする内容＞	＃…主な読者対象	頁
☆日々の授業改善研修・教師力向上研修	＃初任者　＃初任研コーディネーター　＃全読者	❶
☆学校人権教育研修・連絡協議会	＃人権担当職員　＃全読者	❷
☆全国学力・学習状況調査をフル活用！	＃研究主任　＃職員（国語、社会、理科、英語、特活）	❸
☆「豊かな心を育む教育フォーラム2022」、＜急募＞講師の先生を探しています	＃全読者	❼
☆わくわくスポーツセミナーのお知らせ	＃全読者	❽

自分も他の人の大切さも認められる環境づくり

本号では、学校人権教育研修会の県の方針説明から、人権教育のキーワードについて取り上げます。

学校人権教育研修・連絡協議会

5 月 19 日（木）オンラインで開催

内容【学校人権教育研修会】
・県の方針説明
・講演会演題
　講演「見えないってどんなこと」
　　～日常生活における不便さ～
　講師　角谷　美由紀さん
【連絡協議会】
・テーマ別グループ協議

○県の方針説明より

学校人権教育の推進について、令和３年度学校人権教育実施状況調査等から、学校や学校を取り巻く状況の確認と今後の取組の方針について共有しました。続いて、長野県の人権課題（同和問題、子ども・障がい者・LGBTQ 等の性的少数者への対応）とその改善へ向けて説明がありました。また、今学校で取り組んでいただきたいものの一つとして「隠れたカリキュラム」（以下に詳細）が取り上げられました。

○参会者の感想より

視覚障がいの方がどのような思いで生活しているのかについて、理解することができました。また、個別的な課題を扱うときに大切にしなければならないことは、人と出会い、その人のことをわかろうとすることだと思いました。本校の人権教育の研究を、人と出会うことから始めたいです。

人権教育のキーワード　「隠れたカリキュラム」

隠れたカリキュラムとは、**「教育する側が意図する・しないに関わらず、学校生活を営む中で、児童生徒、自らが学び取っていくすべての事柄」**のことです。「児童生徒の人権感覚の育成」には、体系的に整備された正規の教育課程と並び、いわゆる『隠れたカリキュラム』が重要であるとされています。

○授業等で配慮したいポイント例

教職員の意図しない言動の中で、言葉遣い、日々のさりげない態度等が、児童生徒の安心につながります。その反対に、いじめ等を許す雰囲気や環境を作ることにつながっていないか、私たちの日常の言動を見直すことが大切です。

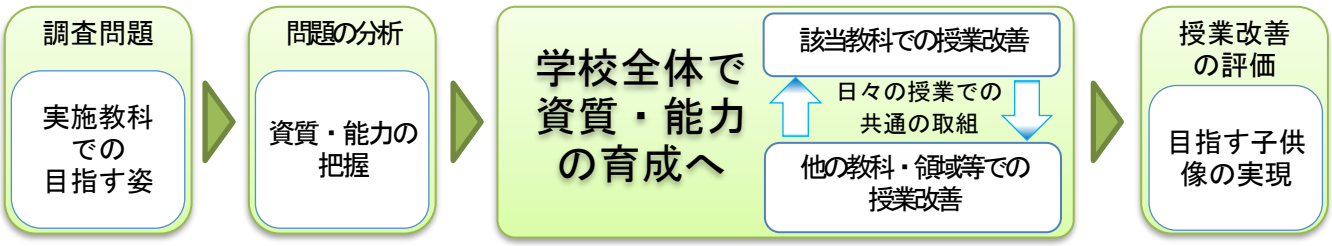
場　面	内　容	留　意　点
児童生徒の呼び名	児童生徒によって異なる呼び方が不公平感等を与えていないか。	・児童生徒一人一人に対するイメージやとらえ方が、呼称の違いに表れることがある。 ・一人一人に不公平感を感じさせない配慮が必要である。
机間（個別）指導	指導の仕方に偏りはないか。	・児童生徒の求めに応じてのみ机間指導を行うと、指導のあり方に不均衡が生じる場合がある。 ・個別指導の記録をとり、意図的・計画的な机間指導が行えるようにする。
児童生徒の言動等に対する指摘	特定の児童生徒への改善点を指摘する際、他の児童生徒にも同様に求めていないか。	・児童生徒の言動等への否定的な評価や改善点の指摘は、該当児童生徒に対するマイナスの価値観をクラス内に固定化してしまうことにもつながります。

教育活動や日常の生活場面で、自分の言動に決めつけや偏見がないかをどのように振り返っていますか。または、どのように振り返ればよいと考えますか。本記事を通して日頃のご自身の何気ない児童生徒との関わりを振り返るきっかけにしていただければと思います。

参考資料：人権教育の指導法等の在り方について［第三次とりまとめ］

全国学力・学習状況調査をフル活用！

～実施教科の問題を分析し、教科等共通の取組へ～



第２回は国語の問題を取り上げ、他の教科等の授業充実例を紹介します。（第１回は事務所だより第２号を参照ください）

調査問題：小学校国語　2　ニ

出題の趣旨

①人物像や②物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。

育成を目指す資質・能力

〔第５学年及び第６学年〕
思考力，判断力，表現力等
C　読むこと　エ
人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

●出題の趣旨を踏まえ、授業に取り入れたい事柄
①：行動や会話、様子などを表している叙述を複数探して結び付けたり、さらに複数の場面の叙述を結び付けたりすることで、登場人物の性格や考え方などが把握しやすくなる。
②：「何が書かれているか」という内容面だけでなく、「どのように描かれているか」という表現面にも着目して読むことで、物語の全体像を具体的にイメージしやすくなる。
→次ページの小学校国語科授業充実例を参照ください。

森田さんは、物語から伝わってくることをまとめ、すいせんする文章を書いています。次は、**【森田さんの文章】**です。**あなたが森田さんなら、**［A］に入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【森田さんの文章】

これは、過去や未来にいけるうちゅう船を作りたいと思っている「ぼく」と、そんなうちゅう船を作った「老人」の物語です。
この物語は、「老人」が未来の「ぼく」かもしれないと思わせる表現をさがして読む楽しさを味わうことができます。それだけでなく、この物語を読むと、わたしは前向きな気持ちになります。なぜかというと、「老人」に出会った「ぼく」を通して、この物語がわたしに伝えてくれることがあるからです。それは、［A］

〈条件〉
○　この物語から伝わってくることを考えて書くこと。
○　十字以上、三十字以内にまとめて書くこと。

調査問題：中学校国語　1　三

田中　川口さんが伝えたい内容は分かりました。ただ、スピーチの冒頭から同じ調子で話しているので、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などの話し方を工夫してみてはどうでしょうか。例えば、「オンラインで離れた場所にいる人と会話をすること」という部分は、伝えたい内容に関係することなので、聞き手に関心をもってもらうために、ゆっくり大きな声で話すとよいのではないでしょうか。

川口　なるほど。③他の部分も話し方を工夫してみます。

三　＿＿線部③「他の部分も話し方を工夫してみます。」とありますが、あなたなら、どの部分をどのように工夫して話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1　**【川口さんのスピーチ】**のどの部分をどのように工夫して話すのかについて、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに着目して具体的に書くこと。

条件2　条件1のように話す意図を書くこと。

出題の趣旨

自分の考えが分かりやすく伝わるように<u>表現を工夫して話すこと</u>ができるかどうかをみる。

育成を目指す資質・能力

〔第１学年〕
思考力，判断力，表現力等
A　話すこと・聞くこと　ウ
相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすくなるように表現を工夫すること。

●出題の趣旨を踏まえ、授業に取り入れたい事柄
聞き手に応じて話し方を工夫する際に、その工夫の意図や期待される効果を整理すること。

小学校，中学校双方の育成を目指す資質･能力と，関連する学習の基盤となる資質･能力

「言語能力」

構成・表現形式を評価する力（小学校国語　2二　より）
言葉を通じて伝え合う力（中学校国語　1三　より）
参考：言語能力を構成する資質・能力（中央教育審議会答申）

◎小学校国語科授業充実例　【光村図書『国語五　銀河』大造じいさんとガン】

「すぐれた表現に着目して読み、物語のみりょくをまとめよう」

★ポイント：子供が既習事項を想起しながら主体的に学習することを大切にしましょう。

登場人物の心情は会話文や行動などに表れていたよ。今回も着目してみよう。

さらに場面と場面を結び付けると心情の変化が捉えられたね。付箋アプリを使って整理してみよう。

既習事項を想起し、子供が具体的に学習の見通しをもつ場面を位置付けましょう。

「あの残雪めにひとあわふかせてやるぞ。」という会話文から、じいさんの決意が伝わるよ。

物語の前半と後半を、残雪の呼び方の違いで比べてみよう。前半は「あの残雪め」だったのに、後半は「ガンの英雄よ」変化しているから心情の変化がわかるよ。付箋アプリに書き込んだ会話文を並べるといいね。

「じいさんは目を開きました」という行動からも決意がわかるね。

会話文や行動で、違いを比較できるものを基に場面と場面を結び付けるなど、読む時のポイントを共有し、考えが広がるようにしましょう。

前半で、「目を開」いて残雪を撃とうとしていたじいさんが、最終場面で、飛び立つ残雪を「見守って」いる姿が印象的だった。直前のスモモの花びらが舞う様子も合わさって、清々しい気持ちが想像しやすいよ。

その場面に何が書かれているかだけでなく、どのように描かれているかにも着目すると、より一層、その場面が想像しやすくなるね。感想をクラウドにあげて共有しよう。

考えが広がった後、叙述を整理したり、結び付けたりすることで、考えが深まる場面を位置付け、単元で学習したことを整理しましょう。

◎中学校社会科授業充実例

「『近世の時代の特色』をとらえる場面

★ポイント：多面的・多角的に考察できるよう対話的な活動を位置付けましょう。

端末上の思考ツールを用いて、歴史的事象を整理し、時代の特色をまとめましょう。

政治・経済など異なる観点や、武士・農民などの異なる立場で捉えている友と意見交換する場を位置付けるようにしましょう。

近世は、幕藩体制など中世より、幕府の強い支配が行われ、また、交通網の整備により都市が成長し、町人文化が栄えたことから、町人が成長したことが時代の特色だと思うな。

友達の異なる観点や視点で捉えている考えを、端末上の付箋アプリに書きましょう。

農業が発達し、百姓が商品作物を栽培して現金収入を得て経済的に豊かになったことが時代の特色だと思う。

様々な産業が発達し、都市が大きく成長したことで町人の経済力が大きくなったことが、時代の特色だと思う。

幕府が秩序を重んじる政治に転換し、ききん対策などを行うなど人々のことを考えたことが時代の特色ではないか。

意見交換後は、自分と友の考えを整理する時間を確保し、根拠を明確にして、自分の考えを再構成する場を位置付けましょう。

端末上の付箋アプリに書きためた友達の意見を参考に、自分の考える近世の時代の特色を見返してみよう。

みんなの意見を聞いて、幕府は力による支配から、秩序を重んじる政治を行うことで天下泰平の世を築いたこと、諸産業の発達により、町人・百姓の生活が豊かになったことが時代の特色だと考えました。

◎小学校理科授業充実例　【信州教育出版社『楽しい理科６年』】

「酸性の液と金属の反応についての考察の場面」

★ポイント：子供が情報を多面的に精査して、考察を構造化する場面を位置付けましょう。

端末に保存した各班の考察カードを見比べて、気付いたことはありますか。

考察カード（　６　）班
結果　塩酸にスチールウールを入れたら泡が発生し、鉄がなくなった。
考察-食塩が水にとけるのと同じように鉄が塩酸にとけた。
-だから鉄はとけただけで、液の中にある。

考察カード（　３　）班
結果ア　とかした後の塩酸を蒸発させたら、塩酸の蒸発とは違って何か残った。
取り出したら粉になった。
イ　出てきた粉…黄色、磁石はつかない。
考察-出てきたので、塩酸ではない。
-黄色なので、鉄ではないかも。
-磁石につかないので、鉄ではない。

端末を利用することで、複数の考察から、解決への見通しをもつ活動が容易にできます。

あれ？６班の考察からでは鉄はあるけれど、３班の考察からでは、鉄ではないことになるよ。結果はみんなで確認して間違いないのに、二つの考察が食い違っているよ。

どういうことだろう？鉄のはたらきが弱くなったのかな。

子供が多面的に考えられるよう、過去の学習を想起させ、それらを関係付けられるようにしましょう。

鉄のはたらきが弱くなったという考えが出ましたね。端末に記録した過去の学習記録で、似たようなことはありましたか。

あっ、だ液をまぜるとでんぷんがヨウ素液で青紫色になる変化が起こらなくなったと、過去のカードに書いてあるよ。

ご飯が甘くなったよね。でんぷんは別のものに変化したんだ。

そうか。だ液の時と同じく、塩酸によって鉄が変化したんだ。だから、ヨウ素液に反応しなくなったように、磁石に反応しなくなったんだ。つまり塩酸の働きによって鉄が別のものに変化したと考えられるね。

◎英語科授業充実例　【東京書籍『NEW HORIZON』English Course 1 Unit6 A Speech about My Brother】

「『語や文法事項等を正しく用いて表現する力』を育成するために」

★ポイント：コミュニケーションを行う目的や場面、状況を設定し、言語活動と指導を繰り返しましょう。

Today's Goal：身近な人のことについて紹介しよう。

I will talk about my brother. His name is Hiroshi. He likes soccer. He plays soccer every weekend. He wants a new soccer ball.

先生は、自分のお兄さんのことを紹介しているんだな。ぼくは友達のことを紹介しよう。

端末を使ってペアでのやり取り（１回目）を録画

He like baseball.
He watch baseball game on TV.

She likes music.
She plays the piano every day.

録画した自分や友達の様子を繰り返し見て、改善点を考えてみよう。.

伝える内容は良さそうだけど、振り返って映像を見るとAさんは like のあとに「ス」って言っているなあ。

中間指導で、生徒とやり取りしながら英文を板書していく。

I read books in my bed.　　She reads books at night.

We play basketball every day.　　He plays volleyball.

You watch soccer game on TV.　　His brother watches …

なるほど、板書を見ると自分と相手以外の人で一人のときは、like や play のあとに s や es をつけているな。２回目のやり取りでは He likes baseball. He watches baseball game on TV.って言おう。

生徒とやり取りを行い、豊富な例文に触れさせた上で発話内容を視覚化して、文法や文の構造などに気付けるようにしましょう。

◎特別活動授業充実例　学級活動（１）「学級や学校における生活づくりへの参画」

「議題『休み時間に端末を使う場合、どんなルールが必要だろうか』の例」

★ポイント：ICT を活用して考えを可視化・操作化・構造化し，「出し合う」「くらべ合う」「決める」

短冊を活用し，似た意見を分類しながら意見を述べ合う

授業に関係ある動画なら見てもいい
タイピング練習ならゲームでもいい
時間を守れば色々な動画を見てもいい
授業のまとめやドリルをするだけにしたらどうか
フィルタリングがかからないものならいいのでは

→

時間を守れば色々な動画を見てもいい
フィルタリングがかからないものならいいのでは
時間・内容に関わること
授業に関係ある動画なら見てもいい
タイピング練習ならゲームでもいい
授業のまとめやドリルをするだけにしたらどうか
学習・学校に関わること

思考ツール(※)を活用しながら合意形成を図る

※考えたこと見えるようにし、考えることを助けるための道具

提案理由をもとに，視点となるキーワードを設定します。出された意見を，視点をもとに分類・整理します。短冊の位置により，学級としてのよりよい意見を見付けることができます。

座標軸を活用した例

「豊かな心を育む 教育フォーラム 2022」のお知らせ

主催：長野県教育委員会
　　長野県道徳教育推進委員会
日時：令和４年９月３日（土）
会場：長野県総合教育センター
申込：URL または
　　二次元コードで登録
　　【８月 26 日〆切】

家庭・地域・学校での心の教育のあり方や連携について考え合います。パネルディスカッションと、長野県が世界に誇るスピードスケート選手の小平奈緒さんとコーチの結城匡啓さんの対談が予定されています。直接お話を聞ける貴重な機会ですので、ふるってご参加ください！

急 募 ！

講師の先生を探しています。ご紹介ください。

現在、長野県内の小中学校では、先生方が年度の途中で産育休や療休等を取得される際に、その**代替となる臨時的任用（講師）の先生が非常に不足**しています。北信地区においても、校長先生が懸命に探されても代替となる先生が見つからないケースが多数あり、校内の先生方でカバーしていただいている学校もたくさんあります。児童生徒の学習活動が通常どおり行われるためには、講師の先生は必須です。

そこで、皆様のご家族、お知り合いやお近くの方等で、教員免許状を有し、講師をしていただける方をご紹介いただけないでしょうか。１～３か月の短期間必要な学校もあります。また７月１日に改正教育職員免許法が施行され、教員免許状の扱いも変更されました。ぜひ講師をしていただける熱意ある先生をご紹介ください。

所属校の校長先生または北信教育事務所にお問い合せ、ご連絡ください。
北信教育事務所　〒380-0836　長野市大字南長野南県町 686-1
電話：026-234-9549
※長野県教育委員会ホームページに臨時的任用希望申込書がありますので、講師として任用を希望される方は印刷し必要事項を記入の上、教育事務所へ郵送または持参をお願いします。

令和4年度 第2回わくわくスポーツセミナー

わくわくスポーツセミナー

スポーツは「みんなのもの」です。スポーツは、その人の適性や関心に応じて行うことができます。このスポーツをするにあたって、ルールや用具、個人の状況によって作り変え、誰でも参加できるスポーツを「アダプテッド・スポーツ」と呼びます。
アダプテッド・スポーツを学び、実践できるようになることでより広くいろいろな人たちとスポーツを共有し楽しむことができます。

全体講演会

東海大学 体育学部 体育学科
教授 内田 匡輔 さん

公平にスポーツを楽しむ新しい価値観を発見できる

ひとりひとりが楽しむことのできる運動・スポーツ指導
～発達障がい・知的障がいを対象にした アダプテッド・スポーツの理解と実践～

分科会1

～発達障がい・知的障がいの子どもへの運動・スポーツ指導～

運動・スポーツの視野が広がる

東海大学 体育学部 体育学科
教授 内田 匡輔 さん

分科会2

障がいに応じた運動指導 ～ムーブメント教育を活かして～

学級活動にも活かせる 中学校でもおすすめ

上田女子短期大学 幼児教育学科
専任講師 大塚 美奈子さん

9／4（日）

参加料：無料

時 間 8:50～12:20（受付8:30～）

場 所 長野県障がい者福祉センター サンアップル
長野市下駒沢586

会場ナビQR

申込みQR

申込み方法

令和4年8月29日（月）までに、
QRコードまたは下記URLよりお申込みください。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc6Zx7vk6akj9v2yEV8DozGaWgUerpgARKo22W5dhD27cgg1g/viewform

お問い合わせ

北信教育事務所 生涯学習課
TEL: 026-234-9552 北信教育事務所 生涯学習課
Mail:hokushinkyo@pref.nagano.lg.jp